

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣南高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月8日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣南高等学校会議室
開催にあたり、委員による校内視察を実施した
- 4 参加者
会長 竹内 治彦 元岐阜協立大学学長
委員 五十川智宣 大垣ケーブルテレビ代表取締役社長、同窓会副会長(書面参加)
小山亜希子 (社福) 楽山・杜の会理事
酒井 吾郎 洲本連合自治会長(書面参加)
竹中 拓也 太平洋工業株式会社人事部主査(書面参加)
藤田万喜子 岐阜聖徳学園大学教育学部名誉教授
藤吉 和彦 サンビレッジ国際医療福祉専門学校校長
二村 勝 大垣南高等学校育友会長(書面参加)
三輪 賢司 岐阜県公民館連合会会長
武藤 幸夫 元高等学校教員(書面参加)
オブザーバー 伊藤 秀光 岐阜県議会議員(欠席)
学校側 川瀬 英樹 校長
滝 一男 教頭(欠席)
古山 晴美 事務長
今枝 誠 教務課長
西脇 一徳 生徒指導課長
折山 真生 進路指導課長
下野恵理子 特別活動課長

5 会議の概要

(1) 学校の現状について

意見1: 校内巡視より、図書館に興味深い。本の配置に工夫が見られる。図書館の隣室「ヨコ図書」という空間は、生徒の居場所となったり、本と触れ合うきっかけづくりの場になっていて、非常に良い。

意見2: 中学校では部活動をやる生徒がかなり減ってきた。高校での状況はどうか。

⇒今年度は2、3年次生と比べると、1年次生の加入率は少し減った。今の生徒の中には、ひと昔前には当たり前のようにできていた礼儀作法等ができない者が見られ、その指導から行っている。

意見3: 中学校では、SNS等を通じて他校の知らない者どうしが大垣駅周辺に集まったりしている。高校でもそのような事態になっていかないか心配である。

意見4: 最初から生徒の主体性に任せるのではなく、教員がある程度生徒を導く営みが重要である。

(2) 生徒および保護者等に対するアンケートの結果について

意見1: 生徒会長が積極的で、行事に生徒たちが積極的に参加する雰囲気があるということであり良い。そのような雰囲気が、協力できる人間の育成にも重要である。

意見2: 本校は広く開かれた学校ということなので、さらに地域の住民と協働した活動ができると良い。その活動が地域を支える人間を育てることにつながるのではないか。

(3) スクールミッション案について

意見1: 文が長いので短く簡潔にした方が良い。誰に向けた提示をするものなのかを考える。進学校として知識や技能を身に付ける学びと探究的な活動を伴う学びの2つの要素が入るが、その部分をどう表現するかを考えると良い。

意見2: 本校の生徒は進学はするが、将来は地元に戻ってくる者が多い。したがって、「将来的に地域社会のさまざまな分野で中核として支える人材を育成する」という文言は必須である。

意見3: 本校がどのような人材を育む役割を担っているのかが表現されていることが重要である。文を簡略化するのに際して、その観点から残すものと省くもの考えると良い。「文武両道」は外せない。

意見4：今の高校生に欠けているものは、コロナ禍の影響もあり、経験や体験である。今の高校生は自分が体験し、納得したうえで将来についての決定をしたがっている。したがって、「成功や失敗を経験して自己の可能性に気づき」の文言は外せない。

6 会議のまとめ

- ・今年度の本校の現状について、校内巡視や報告により理解を得た。
- ・スクールミッション案について各委員から提示された意見により、本校が地域に果たしている役割を改めて確認した。次回にはスクールミッションを提示して決定の可否を仰ぐ。